

「四日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(素案) に関する意見募集の結果について

平成27年12月25日(金)から平成28年1月25日(月)までの間に、「四日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(素案)に関する意見募集を行った結果は、次のとおりでした。

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

- 意見提出者数 2名
- 意見数 11件
- 提出方法 持参1件、電子メール1件

- 意見の内容と市の考え方 別紙のとおり

問い合わせ

四日市市役所 政策推進部 政策推進課

TEL 059-354-8112

「四日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(素案) 意見の内容と市の考え方

No.	意見の内容	意見に対する市の考え方
1	基本目標2において、「四日市ならではの教育の推進」とあるが、その具体例を示してみるのもよいのではないかと思う。	当該箇所については、平成27年11月に策定した「四日市市教育大綱」を踏まえています。同大綱の中で「本市の教育を支える理念」の1つとして「都市の特長を生かした四日市ならではの教育の推進」を掲げており、詳しい記述はそこに譲ることとしたものです。なお、教育分野に限らず、戦略に基づく事業については、推進計画において具体的に位置づけることとしています。
2	「四日市まちじゅうこども図書館」事業について、現在議論されている新しい市立図書館と関連があるのかどうか分からないが、図書館という共通点があるので連携して読書を推進していくことができればよいと考える。	「四日市まちじゅうこども図書館」事業は、まちなかの身近な場所において、子どもが読書に触れる環境を整備する目的で実施しています。読書活動の推進においては、様々な施設や場面において、それぞれの特性を生かした役割分担を図りながら、連携した取り組みを進めてまいります。
3	本市独自の地域資源を活用したシティプロモーションに関連して、本市の環境技術を広く効果的に情報発信していく際に、市民をボランティアとして巻き込んでいくことで、市への理解を深め次世代に伝えていくことができれば、市の魅力を磨くことにつながるのではと思う。	ご指摘のとおり、市民の皆様には本市の魅力や独自の地域資源について理解を深めていただき、若い世代にも伝えていくことが、市の魅力発信にあたっての重要な基盤であると考えます。市民・事業者等と協働しながら、情報発信の取り組みに努めてまいります。
4	国が市町村に策定を求めている「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、2060年の人口ビジョンを検討し日本の将来を見据えるために、明治維新の変革に相当する平成維新の道しるべを模索し歩むことを目指している。欧米の前例もない中、社会的な危機としての様々な問題があることから、もっと時間をかけて検討すべき余地があるように思う。	「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定は、日本の人口減少への対応を早急に進めるべく、平成27年度中の策定が求められているため、ご理解いただきますようお願いいたします。評価検証を経る中で、必要に応じて見直しや拡充を行ってまいります。
5	国に倣って四日市市まち・ひと・しごと創生本部事務局を立ち上げてはどうか。	本市においても、平成27年6月に市長を本部長とする四日市市地方創生推進本部を立ち上げ、本総合戦略の策定を進めてまいりました。
6	適齢期の男女が結婚するようなシキタリを国とともに作り直す必要がある。結婚することが当たり前という教育を子どもの頃から学校・家庭で取り組むことや、子沢山世帯にとって魅力あるような税体系を作ることも必要ではないか。また、適齢期の男女の出会いのイベントの開催や、共働き世帯にとっては、祖父母が近くにいると子育てに対応できるような仕組みを根付かせることが必要である。	種々ご提案をいただきましたが、個人の生き方に関わる部分について、固定的な価値観を強制するような記述を行うことは適切ではないと考えますので、ご了承願います。参考意見として承りますが、基本目標2における記載にあるように、出産や子育てに前向きになれる地域社会づくりを進めてまいります。

「四日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(素案) 意見の内容と市の考え方

No.	意見の内容	意見に対する市の考え方
7	元気なやる気のあるシニア働き手を生かした仕組みを作ることが必要である。	ご指摘のとおり、高齢者層は各基本目標の推進における重要な担い手であると期待しております。例えば、企業OB人材等の活用や子育てにおける多世代による支援、地域における支え合いの体制づくりなど、本総合戦略において位置づけており、力を発揮していただけるような場づくりを図ってまいります。
8	ドローンは大型化する可能性があることから、国際空港や四日市港と連携したドローン物流基地システムの構築をしてはどうか。	ドローンについては、技術面・法規制面など社会的な研究途上にある技術であり、本市総合戦略との関連性が不明確であることから、参考意見として承ります。
9	「市(いち)」を前面に出すべきである。回数・開催場所を多くし、安くて新鮮なものにすべき。スマホアプリで消費者とつながりを持つようにするシステムを作ってはどうか。畑が市場となるという「畑市場」を作ってはどうか。	定期市に関しては、四日市市総合計画の基本目標2「いきいきと働ける集いと交流のあるまち」のうち基本的政策「自律的な暮らしを支える買い物拠点の再生と地産地消」において、定期市への支援を位置付け、取り組みを進めています。参考意見として承ります。
10	いつまでも暮らしたい、そこで人生を終わりたい地域にするため四日市らしい協働システムを構築充実させるべきである。	基本目標3「地域で支えあい、安心して住み続けられるまちをつくる」にあるように、ボランティア、NPOや住民組織など多様な主体が担い手となって、住民参加のもと地域で支え合える体制の構築を目指します。
11	明治維新に西南戦争が起きたように、変革には負の反動が伴う。負の反動を予測し、対応策も準備する必要がある。	参考意見として承ります。